



小田小だより

〒236-0052 横浜市金沢区富岡西1丁目69番1号 Tel.045(775)3011

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/koda/>

横浜市立小田小学校

読書の楽しさ ～ 良い本とのめぐり合い ～

校長 中川 浩二

落ち着いて読書をするのに適した秋の季節となりました。

本校では、朝の時間を使って図書ボランティアの方による本の読み聞かせをしていただいています。読み聞かせは、1・2年生は毎週1回、3年生以上は月1回を目安に年間を通して実施しています。ボランティアの方、ありがとうございます。

私が小学校4年生のとき、担任の先生の読み聞かせが大好きで、ハラハラドキドキしながら聞いていたことを今でもよく覚えています。本校の読み聞かせでも、子どもたちは、「シーン」という静けさの中、夢中になって聞いています。

この読み聞かせの経験が、おもしろい本や興味がある本とめぐり合い、自分から進んで読書しようとする子どもたちの意欲につながっています。



朝の読み聞かせ



本校では、各学年の国語科の学習において、物語・説明文・詩・俳句など多くのジャンルの本を通して、読書の基礎となる「読む力」の育成をしています。国語科以外の学習でも、参考となる図書を通して、読書の世界を広げていけるよう取り組んでいます。

また、図書委員会の5・6年生は、おすすめの本の紹介、読書イベント、読書集会などを通して、全校児童が読書に親しめるよう熱心に活動しています。その他、子どもたちが利用しやすいように学校図書館の環境整備をしています。大型絵本の読み聞かせ（11月予定）もあります。

さまざまな学習やイベントなどの機会を通して、子どもたちが読書の楽しさを味わい、次にあげる「読書の効果」が表れるよう努めています。

その「読書の効果」は、主に3つあげられると思います。1つ目は、経験していないことや空想的なことなどの本を読むことで、自分の世界を広げていけること。2つ目は、自分の頭で想像しながら本を読むことで、想像力を豊かにしていけること。3つ目は、他者が考えた本を読むことで、自分の力で考えることを伸ばしていけることです。

ご家庭でも、お子さんと一緒に本とふれあう機会をつくってみてください。例えば、親子読書をする、近くの図書館へ行く、本について話をするなどです。国語科の教科書に出てくる、おおきなかぶ（1年）、スイミー（2年）、モチモチの木（3年）、ごんぎつね（4年）、カレーライス（5年）、やまなし（6年）などの物語を話題にするのもよいと思います。

子どもの頃に読んだ本を大人になって読み返すと、より深く読むことができます。これも読書の楽しさのひとつです。ちなみに私は、「モチモチの木」のじさまが豆太に言う次の言葉が好きです。何か行動を起こすときに背中を押してくれる言葉です。

「じぶんで じぶんで よわむしだなんて おもうな。

にんげん、やさしささえあれば、やらなきやならねえことは、きっと やるもんだ。」

【引用書籍】 斎藤隆介・作／滝平二郎・絵 『モチモチの木』（岩崎書店 1999年）

【子どもたちと一緒に本を楽しみませんか！ 図書ボランティアの方を募集中です】

読み聞かせ、学校図書館環境整備など、お手伝いできる保護者の方や地域の方を募集しています。興味のある方は、小田小学校（045-775-3011）へご連絡お願いいたします。